

教科の目標

- 1 日本や世界の地理的事象に対する関心を高める。
- 2 広い視野に立ってわが国土の地域的特色を考察し、理解する。
- 3 地理的な見方や考え方の基礎を培う。
- 4 わが国の国土に対する認識を養う。

評価の観点

- 1 社会のさまざまなできごとへの関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って解明しようとしているか。(主体的に学習に取り組む態度)
- 2 社会のさまざまなできごとから問題を発見し、情報を多面的に考察した内容を表現できるか。(思考・判断・表現)
- 3 必要な資料を収集、選択、活用し問題解決をしたり、調べまとめることができるか。社会のさまざまなできごとの意味や特色、相互の関連性を理解し基礎的な知識を身につけているか。(知識・技能)

評価の方法

- 1 授業中の態度や参加の様子がまじめで意欲的であり、考えを発言する。
- 2 課題に対し、多角的・多面的に考察し、言葉や文章等により解決することができる。
- 3 課題に対する適切な資料を収集し、解決のために利用することができる。
- 4 授業内容を知識として構築し、定期テスト(中間・期末)で解答することができる。

特色ある学習方法

- 1 問題解決型学習を単元によって導入し、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 2 話し合い活動を通し、他者からの情報を分析する能力を高める。
- 3 課題に対する調査活動を行い、適切な資料を収集し活用する能力を養う。
- 4 基礎的事項の理解、定着を図るため、まとめ作業やレポート作成等を行う。

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	第1編 世界と日本の姿 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見し解決する過程を通して、「思考力」「判断力」「表現力」を養う。 ・地球儀や地図を活用して6大陸、三大洋の形状や分布を知り、地球規模での位置関係をつかむ。 ・緯度と経度による地球上の位置のられることを地図上で理解する。 ・国名の由来、国境、などに着目しさまざまな国の名前、形、位置を地図を使って理解する。 ・世界の略地図を描くことができる ・世界的視野から、世界の中での位置や時差に関すること、日本の地形や気候、地域区分等の特色を理解させる。
二 学 期	第2編 世界のさまざまな地域 第1章 世界各地の人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 1節 アジア州 2節 ヨーロッパ州 3節 アフリカ州 4節 北アメリカ州	<ul style="list-style-type: none"> ・気候帯ごとの気候の特徴や生活の違いについて、雨温図や資料を読み取り自分の言葉でまとめる技能を身につけさせる。 ・世界の諸地域の自然環境、産業、生活・文化、などの特色について概観し、基礎的・基本的な知識を身につけさせる。
三 学 期	第2章 世界の諸地域 5節 南アメリカ州 6節 オセアニア州	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域の自然環境、産業、生活・文化、などの特色について概観し、基礎的・基本的な知識を身につけさせる。